



人権啓発標語

『知ること』たった一つのことによって変わる

武蔵ヶ丘中学校 1年 河田 和樹(現在2年生)



友だちと一緒にままごと遊び
(作者は左側)

「みんな だいすき！」

みどり園 荒木 彩良(5歳)

さかさまブルブルもして
くれる。
いっぱいして、パパはつ
かれたらおみずのみにい
よ。
のんだあと、こんどはお
とうとをひこうきビュン
ビュンしてくれる。

生活画



「おとうとといっしょにあそんでるよ」

担任より

家庭での出来事をよく話してくれる彩良さん。パパとサツカーや縄跳びをして遊んだり、弟といたないないばあをしてふれあったことなど、笑顔で話す彩良さんの姿を見ると、家族が大好きなことが伝わり、温かな気持ちになります。

学校だより 60

武蔵ヶ丘北小学校



地域人材から大いに学ぶ 武蔵ヶ丘北小

令和4年度、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、各学年地域の皆さんからさまざまな学びの機会を提供いただきました。例えば地域の人と一緒に昔遊び、獣医さんの面白いお話、さまざまなプロからの直接指導、書道・絵画・農業・地質調査などです。

特に、2月からは以前活動していただいていた読み聞かせグループ「お話パクパク」さんをお願いして活動を行っていただきました。1年〜3年の児童は、小学生になって初めての体験でした。工夫をこらした衣装や季節にあった読み聞かせ、子どもたちにとって夢のような時間が過ぎていきましました。



「読み聞かせボランティア」のお話に夢中になる子どもたち

人権のまち菊陽フェスタ開催 ～「人権の世間」をつくる～

2月25日(土)、「人権のまち菊陽フェスタ」を開催しました。オープニングコンサートではシンガーソングライターの「ちひろさん」が、町人権の歌「こころ」や金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」の詩に自ら作曲された歌などを披露しました。最後の歌詞の「みんながってみないい」は会場全体で手話も交えて表現しました。



その後、近畿大学名誉教授の奥田均さんが「差別意識のカラクリを考える」の演題で講演しました。奥田さんは、「通常「〇〇差別」という言い方をするときには、障害者差別、女性差別、外国人差別など〇〇には差別を受けている対象者が表現される。部落差別は、なぜ、「部落出身者差別」といわないのか。世間の人判断する部落出身者とは誰のことか。全国の調査結果から「同和地区との属地性(土地との関り)」が判断の基準になっている現実が見えた。同和地区と属地関係を持たば「同和地区出身者」と見なされる可能性が市民を包み込んでいます。「見なされる可能性」を避けようとする意識・忌避意識が形作られている。この忌避意識の克服を考えたい。大根を買う時に品質を基準に選ぶのに、結婚相手を決める時に人をしっかり確かめてではなくなぜ、世間の目を気にするのか。人間の値打ちは地面では決まらない。もういいかげん、人間の値打ちを地面で決めるというばかげたことはやめましようということにつける。まわりから笑われるのが多数派を形成する「人権の世間」づくりを進めたい。「禁煙」の世間づくりから学ぶといい。「以前は、たばこは地元で買いました」と行政もすすめていたが、今は喫煙者の肩身が狭くなる「禁煙の世間」が張り巡らされている。①学校教育②マスコミ③行政・企業④法律が世間づくりを力発揮した。さらに、「差別禁止法」が必要になる。人権のトップランナーに菊陽町がなってほしい」と語りました。参加者からは「部落差別意識のカラクリに初めて気づかされました。部落差別はなくせるとい展望が持てました」「人間の値打ちは地面で決まらない。人権の世間をつくらう。とても分かりやすく、印象に残った言葉でした」などの感想が寄せられました。

きくよう文芸 3月



菊陽句会報

励まざる幾年月ぞ父祖の梅	紫藤 祥子	起き難し眠り楽しむ春の雨	寺尾千代子
さりげなく次の夢告ぐ卒業子	曾我 育代	暮れ時の睡魔の襲ふ春炬燵	財津 早雪
ものの芽のそれぞれ色の光りけり	曾我トモ子	故郷は香りはじける沈丁花	原野レイ子
漂流の山々黙す薄氷	緒方チエ子	同胞の久に集ふは桜月	高橋 孝子
無器用に生きるもよしと猫柳	米山るみ子	梅が香の簪を差す乙女達	北川しんじ
阿蘇外輪八方隠し野火けふる	吉田 幸子	一雨に勢ひ増したる初桜	狸々 紀男
息荒く白煙の阿蘇山笑ふ	木村 信子	春昼やりハビリ機器に身を委ね	佐藤 澄世
母の座はしなやかに老い貝母咲く	田中 郁子		

短歌会

路の躰一つ出でたる前庭につづく芽を待つ寒き朝かな
 植え付けてひと月になる春キユウリ雌花咲きおり丈低くして
 如月の庭に木の実も花もなく鳥は高鳴く細く短く
 野に遊ぶ児らの声ごえ消え去りて山道を行く静まる森へと
 遠山に白きコブシの花の見ゆ木々の芽吹きに胸の高鳴る
 この春はスギの花粉の増えるらし換気の窓を閉めてまわりぬ
 てのひらを重ねる親もその児らもすばやく手を引く叩く一瞬

有久 賢治
 梅田 國雄
 佐藤せい子
 田中 成美
 中村トシエ
 馬場 礼子
 松本 東亜